

各地の自然災害で被災された方々に、心からお見舞い申し上げます。神様の慰めと助けがありますよう、お祈りしております。

神にあって生きる

現在、教会に来られている方たちにも、神様との出会いがありました。
第7回目は、昨年11月に洗礼を受けられたYNさんにその経緯を語っていただきます。

私は、5年前に、新聞に入っていたグローリーを見て、宝塚栄光教会へ電話しました。知り合いの人に教会にはいやしがあると聞いたことがあったからです。

その当時の私は、まさに重荷を背負っていた者でした。様々な事で悩み、心は荒れずさみ、本当に哀れな状態の心情でした。仕事場では同僚と楽しく仕事もでき、おしゃべりして気がまぎれましたが、夜一人で台所で現実を思い返し、涙することがよくありました。聖書にある長血を患った女が私でした。

教会の礼拝に出席し、聖書を読むようになると、わからない事がたくさん出てきましたが、特に「あなたの敵を愛しなさい」というイエス様の言葉は理解できませんでした。私にひどい事をした人をどうして愛することができるのだらうと思いました。教会の先生に尋ねると、「イエス様を信じて罪が赦されたら、イエス様の愛によって赦すことができるようになりますよ」と言われました。

そのうち、先生から学びを受けるようになり、その中で自分の罪が何かを教えられ、自分が神様の前に罪びとであることがわかりました。そして、神様の前で罪を悔い改め、イエス様の十字架を信じました。先生は、私の頭に手を置いて、「しっかりしなさい。あなたの罪は赦されました」と言ってくださいました。すると、不思議なように重荷が取り除かれて、心が軽くなるのを感じました。

こうして私は罪から救われました。その後は、なぜか人に対して腹を立てることが少なくなり、心穏やかに過ごせるようになりました。先生にそう言うと、「救われたからですよ」と言われました。

これからは、神様を信じて、み言葉に従っていきたいと思います。



眼に入る木々が 鮮やかな緑となっていた



2018

5月号 129

宝塚栄光教会

教会からのオススメの一冊

「ポケットのなかの祈り 26人のアンソロジー」

フォレストブック編集部 編
(いのちのこたば社フォレストブック発行)

“祈り”と聞いて、むずかしいと思われるでしょうか。“クリスチャンだけがすることじゃないの?”とか、“どうやって祈ったらいいかわからない”と思われるでしょうか。そんな方にお勧めしたいのがこの一冊です。堅苦しい祈り文ではありません。身近な言葉で綴られた心の声だと言えるでしょう。タイトルの通り、いつもポケットに入れておいて、“今だ”というときに取り出して祈ることができる・・・そんな祈りが詰まっています。読んでいるうちに、祈りとは神様との会話なのだ気がつきます。私たちの今の気持ちをそのままお伝えするのです。ですから、誰でも、祈りをささげることができるのです。そして、私たちが心からの祈りをささげるとき、神様は愛と真実をもってその祈りを聞いてくださるのです。ぜひ本書を通して、祈りをもっと身近に感じていただきたいと願います。そして、人生の折々において、毎日の生活の只中において、そっと祈りをささげてみてはいかがでしょうか。



チャペルコンサート Vol.49 入場無料

6/24 (日) 15:00~

演奏: 友枝良平 (オカリナ)
永田参男 (ギター)



大人気のオカリナコンサート
今年はギターとの共演があります。

ケアプラン デイサービス オリーブの実

「ケアプラン オリーブの実」
☎:0797-73-6055

「デイサービス オリーブの実」
☎:0797-73-6077

お気軽にお問い合わせ、
ご相談ください。

<http://hp.kaipoke.biz/gev/>

教会ホームページのバナーからもアクセスできます。

ピアノ/教室を始めています。
お問い合わせ先:0797-73-6076



宝塚栄光教会

牧師: 岩間 洋

〒665-0021 宝塚市中州1-15-9 TEL:0797-73-6076

E-mail: info@takara-eikou.com <http://www.takara-eikou.com>

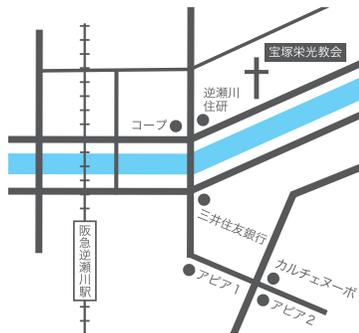
希望のダイヤル
毎週更新。24時間つながります。
0797-77-3746

ポッドキャスト
でも配信!
ホームページから
利用できます。

礼拝 毎週日曜日
10:30~11:40



わたしたちは統一教会、ものみの塔(エホバの証人)、モルモン教ではなく、正統的なプロテスタントのキリスト教会です。お困りの方はご相談ください。



流れのほとりの木のように

あなたの生活には潤いがありますか。喜びと平安と満足が感じられる日々でしょうか。喜びも感謝もなく、不平と愚痴ばかりの日が多いのではないのでしょうか。もしそうだとするならば、潤いの源に根が下ろされていないことが原因です。

聖書にこうあります。「その人は流れのほとりに植えられた木。時が来ると実を結び、その葉は枯れず、そのなすことはすべて栄える。」(詩篇1篇3節)

潤いの源に根がしっかり下ろされていれば、豊かに実を結び、葉を青々と茂らせることができます。では、その源とは何でしょうか。それは、私たちの主イエス・キリストです。キリストにしっかりと根を下ろすならば、私たちはいつも生き生きとしています。心に喜びがあり、平安があり、希望にあふれています。

キリストは、私たちを、そのような潤いのある歩みをさせるために、この世に来てくださいました。そもそも私たちの生活に潤いがないのは、罪のためです。聖書の言う罪とは、外に現れた犯罪というよりも、私たちの心の

中にある、神に逆らう性質のことです。まことの神から離れている私たちの心の状態が罪なのです。この罪を持ったままでは、私たちの歩みには潤いがなく、ついには滅んでしまうのです。

この罪から私たちを救うために、キリストは十字架にかかってくださいました。キリストは罪のない神の子でしたが、私たちに代わって十字架について、血を流して死なれたのです。私たちが、自分の罪を悔い改め、キリストが私のために十字架にかかれたと信じるならば、私たちは誰でも例外なく、罪が赦され、救われます。そして、それまで知らなかった喜びと平安が与えられ、天国の希望が与えられるのです。

このようにキリストの救いをいただき、潤いのある生活を送る人は、決して行き詰まったり、絶望したりしません。何か問題が起こったときでも、積極的に前向きに対処することができます。そのような実り豊かな生活を送りたいとお思いになりませんか。



「ラショウモンカズラ」

若葉の緑が みずみずしい
5月の日射しに 誘われて
いつもより 足を延ばした散策で 見つけた
小さな春の 花々の群生
陽光を 体いっぱいを受け
花達の表情も とても良い

ラショウモンカズラは 半日陰の 草むらの中で
葉に埋もれるように 咲いていた
濃い紫色が 印象的で 少し良い香りもする

名前の謂われは その花の形が 羅生門に棲息する 鬼の腕のようだと
何ともかわいそうな 名をつけられているが
高貴な香りのする 美しい花だ
茶花としても使われ 愛されている

カズラというが 花が咲き終わると ランナーを出して
増えている 生命力の強い 花である
花言葉は 幸せを招く

気候の関係か 植物たちの成長も 早くなっているように 感じる
ラショウモンカズラも 自然の中から 少しずつ 減っているように思える
去年あった場所から 消えていることもある
もしかして 自然の草花は 咲き急いでいるのかもしれない

人の生涯は 草のよう 野の花のように 咲く
風が その上を吹けば 消えうせ
生えていた所を 知る者もなくなる

詩編103編（聖書）